

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

事務事業名		全国担い手サミットin茨城参画事業						事業区分		担当	
								新規/継続	新規	事務事業No.	040101001057
		政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401	農林業の振興								農林課
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり						課長名		
	施策名	01	農林業の振興						グループ	農政	
	手段名	01	①担い手の育成・支援						担当者名		
		財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度のみ（ 年度）		
	01	06	01	02	02	00	農業総務事業		➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入		
法令根拠											

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 全国の意欲ある農業者が一堂に会し、農業経営の現状や課題についての認識を深めるとともに相互研鑽・交流を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 各市町村及び担い手団体、農業関係団体で構成される県西地域運営委員会の運営と担い手団体の補助を行う。 運営委員会と担い手団体間の連絡調整を行い、サミットに向けて意見を交換する。サミット開催時には視察研修先や交流会の運営を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・県西地域運営委員会の運営事務 ・担い手団体の補助 ・サミット当日の運営	事業回数	回	7.00	1.00	4.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・桜川市認定農業者連絡協議会会員	認定農業者連絡協議会会員数	人	188.00	183.00	183.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・他県の経営農家と情報を交換し理解を深めることにより、農業経営状の問題解消と経営の安定化に繋げる。	会員の交流機会		0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	0	0	103		0
			事業費計（A）	千円	0	0	103		0
			正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				07 報償費	103	
			合 計	0		合 計

事務事業名	全国担い手サミットin茨城参画事業	事務事業No.	40101001057	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・担い手の交流を目的として毎年各県持ち回りで開催されている。令和2年度は茨城県が開催予定であったが、コロナウィルスの流行により令和3年度に延期となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・市外の農業者と交流するよい機会である。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 情報交換により担い手の育成支援を図ることができ農業の振興につながる。
	②公共関与との妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 担い手の相互交流の促進を図り、農業の振興を推進していくため、市が中心となり運営すべきものである。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 単年度の事業である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 担い手間の相互交流の機会が減少することに加え、農業経営技術を向上させるための活動ができないため、農業の振興に悪影響が出る懸念がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 類似事業がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない サミット運営委員会が負担金額が決まっているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 市町ごとに農家数、耕地面積、宿泊場所数などの規模で決定しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） コロナウィルス流行の影響があり、大規模な開催は難しいため、参加人数の制限や日程の省略などを含めた検討を、運営委員会で続けていくことが必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性 ☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐